

2013(平成25)年度事業計画

2013年10月1日から2014年9月30日まで

特定非営利活動法人ニンジン

I. 事業実施の方針

ニンジンの最重点事業であるモンゴル障がい児療育支援事業については、2013年春に専門家のチームで2度目のモンゴル訪問をして、より障がい児の地域での生活に近い医療機関での啓発セミナー、障がい児の診断・治療を行い、現地状況を把握した。

この障がい児療育支援事業では、早期発見・早期療育をモンゴルにおいて実現するため、その仕組みづくりの先駆けとなる乳児の全数健診をするモデル地区が実現することためにさらに啓発活動をする。今年度は、日本でその経験のある保健関係者にも参加いただき、障がい児保護者の会の活動を中心に支援していく。

療育支援の基本姿勢として、当事者(障がい児の親)が立ち上がり、関係者(医師、看護師、ケースワーカー、保育士等)と協力して療育の場づくりをする動きを尊重する。

タイについては、北タイのNGO・ルデラ(ラフ農村開発)と協力し、北タイへのスタディーツアー、高校生のスタディーツアーコーディネートを継続実施する。

組織運営については、シンプルな組織運営をめざし、事業資金の確保に努め、モンゴル障がい児支援事業の推進をはかる。

II. 事業計画

1. 海外との協力事業

(1) モンゴル障害者支援事業

ア. 専門家訪問団による障がい児医療の実態把握と啓発

目的:地域の障がい児の診断、療育の実態を、地区病院等での診察・相談・訓練を通して把握し、啓発する

実施時期:2014年4月26日(土)~5月5日(月) 10日間

訪問団メンバー:医師、理学療法士(PT)、保健師、車いす技術者、事務局

予定地域:ウランバートル市内地区病院、障がい児保護者の会、

内容:保護者の会、地区病院等での診察・相談・訓練、および家庭医、看護師、ケースワーカー等を対象とする早期発見早期療育に向けての啓発セミナー、車いすの調整配布および車いす要請児者の採寸、療育従事者への研修、

イ. 療育従事者への研修

理学療法士(PT)を対象とする研修会を実施する。脳性まひ児への理学療法の専門家PT、事務局をモンゴルへ派遣し、研修会を実施する。合わせてモンゴルへ届けた車いすの適合をみる。

派遣期間:2014年8月2日(土)~16日(土)

研修会の実施期間:2014年8月11日(月)~14日(木) 4日間

派遣専門家：PT、事務局
予定場所：ウランバートル市内・障がい児保護者の会療育クラス
協力団体：障がい児保護者の会、Sujatashand
内 容：脳性まひ児の理学療法についての研修、
また、モンゴルから障がい児保護者、医療関係者を招聘して、療育現場視等を視察する研修を行う(予定)
招聘期間：2014年6月に1週間
招聘人数：4～5人

ウ. 使用済み車いすの収集と配布

心身障害児総合医療療育センター、株式会社ゼット本社他の協力をいただき、モンゴルで採寸した希望者の身体にあった子ども用車いす、バギー等を収集し、モンゴル他へ運び配布する。

- ①JICAの「世界の笑顔のために」プログラム(H25年度第2回)を通じて
実施時期：2013年12月中旬⇒JICA 芝浦倉庫
収集場所：心身障害児総合医療療育センター
台 数：22点
配布場所：ウランバートル(保護者の会、隊員配属の病院)
配布時期：2014年2～3月
現地協力者：小泉裕一(青年海外協力隊員、シヤスティン中央病院リハビリテーション科 PT)、Sujatashand 他
- ②専門家訪問団の手で
実施時期：2014年4月26日(土)～
台 数：10台前後
- ③夏モンゴル交流ツアー参加者の手で
実施時期：2014年8月
収集場所：心身障害児総合医療療育センター
台 数：10台前後
配布場所：モンゴル国ウランバートル、南ゴビ、その他の地方
現地協力団体：障がい児保護者の会、Sujatashand 他

エ. モンゴル支援事業報告会の開催

モンゴル支援事業の支援者を増やすことを目的として、報告会を開き、活動の紹介・報告をする。あわせてモンゴル音楽を楽しんでいただく。
実施時期：2014年7月5日(土) 19:00～21:00
会 場：ルーテル市ヶ谷センター(東京・新宿区)

2. 海外の障がい児者等との交流事業

(1) モンゴル交流ツアー

『第10回モンゴル交流ツアー～車いすを届ける旅』の実施

モンゴルの障がい児に車イスや装具などを届け交流し、併せてモンゴルの大自然に触れるツアーを実施する。

実施時期：2014年8月2日(土)～8月9日(土) (予定) 7泊8日

募集人数：10人～15人

訪問先：ウランバートル、障がい児親の協会、他

(2) タイ交流ツアー

ア. 『北タイ・焼畑の村スタディツアー』の実施

北タイをベースにラフ族の人びとを主として支援してきた NGO ルデラでは、森の復活と農民の自立を組み合わせた取り組みを行っている。こうした取り組みに学び、あわせて中国雲南地方から来た彼らの生活文化にふれるスタディツアーを実施する。現地で東金市の西芳秀さん(獣医)が講師となり養豚講座を開くので、その応援をする。

実施時期：2014年2月7日(金)～13日(木) 6泊7日

募集人数：10人程度

内容：山の村に滞在し生活文化を体験し、森復活の取り組みを学ぶ。
養豚講座の手伝い、研修農場の見学、古着のバザー等。

イ. タイへ高校生のスタディツアーのコーディネート

東京の私立・順天高校が行うタイ修学旅行の北タイ滞在期間について協力し、さまざまなハンディを抱える人々、また同世代の青少年と出会い交流するスタディツアーの企画・コーディネートを行う。

実施時期：2014年7月24日(木)～10日間程度

受入人数：順天高校より、生徒及び引率教員20人程度

内容：＜チェンライ＞山岳少数民族ラフ族の村の生活体験、研修農場での体験、子ども寮での交流、＜パヤオ＞学校訪問、ホームステイ
＜チェンマイ＞HIV/AIDS 関連の活動、ストリートチルドレン関連施設などの訪問、視察交流、象乗り

協力者：ダイエー・セイリ氏(チェンライ)、川口泰広氏(チェンマイ)

3. 啓発事業

(1) アジア諸国の障がい児・者及び少数民族支援等に関する啓発セミナー等の開催

公開セミナー

実施時期：2014年6月

内容：(予定) モンゴルの障がい児の療育の実現に向けて

4. 文化交流事業

(1) ハワリンバヤル 2014 (モンゴルの春まつり) への参加

在日モンゴル留学生会が中心となって実施するイベントに参加する。

実施時期：2014年5月4日(日)、5日(祝)

会場：練馬区・都立光が丘公園

主催：在日モンゴル留学生会／実行委員会

(2) モンゴル文化紹介

要請に応じて、モンゴル社会、モンゴルの障がい児・者について紹介する。

5. 情報提供事業

(1) インターネットによる情報提供

ホームページおよびブログによる発信に努める。

情報公開サイトへの登録、更新により、団体情報の提供に努める。

(2) ニュースレターの発行、Eメールニュース(「ニンジン・アップデート」)の送信

6. 組織運営

(1) 会議の開催

ア. 通常総会の開催 (年1回)

期日：2013年11月24日(日)

会場：中央区立女性センター「ブーケ21」

イ. 理事会の開催 (年2回)

ウ. 運営委員会の開催

理事および会員有志からなる運営委員により、事業実施の詳細を決め、実施する。

(2) 財源の確保

組織の安定した財政基盤を築くため、会員の拡大、寄付等財源確保に努める。
モンゴル関連事業の充実を図るため、資金調達に努める。

(3) 事務局業務の分担

役割の分担を進め、事務局機能の充実を図る。

(4) ニンジン・サポーターズ倶楽部

会員資格の有無を問わず、ニンジンの活動をサポートするボランティアを組織して、車いすの清掃やコンサートやイベント出展のスタッフなど、活動への参加を呼びかけ、輪を広げる。